

10月1日から 上水道の受付・検針・料金の窓口が変わります

〔水道部業務課〕

彦根市では、水道使用者の皆さんの利便性の向上を図るため、10月1日(水)から、上水道の受付・検針・料金に関する業務窓口を、(株)エコシティサービスに委託し、窓口の開設時間・曜日を変更いたします。

また、同時に、上水道の業務窓口が、市役所とは別の場所に移りますので、「ご注意ください」。業務窓口を委託することにより、曜日を問わず窓口が開くことになるため、これまでよりもたいへん便利にご利用いただけます。

新しい窓口で利用できるサービスや、取り扱う主な業務は次のとおりです。  
水道使用者の皆さんには、8月下旬から9月中旬にかけて、ハガキによるご案内もいたします。今回お知らせする内容は、彦根市ホームページでも掲載しています。

新しい窓口の名称

彦根市上下水道料金お客様サービスセンター「以下、『お客様サービスセンター』」

お客サービスセンターの窓口開設時間(10月1日)  
月～金曜日 午前8時30分～午後7時  
土・日・祝祭日 午前9時～午後5時

受付事業者  
(株)エコシティサービス(旭町1-22年明ビル2階) ☎27-2802番、FAX27-2803番

お客様サービスセンターで利用できるサービス

- ① 水道使用の開始・休止(開栓・休栓・名義変更のお申し込み)
- ② 上下水道料金(使用料)のお支払い
- ③ 口座振替等支払い方法のご相談
- ④ 検針に関するお問い合わせ

※このほか、お客様サービスセンターでは、「未納料金督促などの滞納整理」「給水停止措置など、市が行う業務の補助」「メーターの検針や交換」を取り扱います。

その他

・受託事業者は、検針や料金滞納整理のための訪問時には、市の発行する身分証明書を携行します。

・市と受託事業者は、料金収納などの業務や、個人情報については、法令に基づき取り扱うこととしており、上下水道業務以外に個人情報などを使用することはありません。

・未納料金に関する法的措置(司法上の手続き)や給水停止など、市が法令に基づいて意思決定するものは、これまでどおり市で行います。

・水道加入工事や、給水装置の改造など、工事に関する申し込みは、これまでどおり市で取り扱います。  
問い合わせ先 〔水道部業務課〕 ☎22-2722番、FAX24-4054番

彦根市防災訓練

日時 8月23日(土) 午前8時30分～同11時30分  
会場 中央中学校グラウンド(西今町)、鳥居本地区公民館、旭森地区公民館、稲枝北小学校

防災意識を高めましよう

大雨と大規模地震の発生による被害を想定した防災訓練を行います。

主会場の中央中学校では、住民の避難・誘導訓練や地震体験など、さまざまな訓練を、参加した皆さんに体験していただきます。また、災害時における水道・ガス・電気などのライフライン機能などの対応、消防機関が行う火災防ぎ訓練などの臨場感あふれる訓練を見ていただき、防災意識の高揚を目指します。家族や地域の皆さんといっしょにぜひご参加ください。

主な訓練内容

避難訓練、初期消火訓練、水防訓練(土のう積みなど)、ヘリコプターによる救出訓練、負傷者の救出・救護訓練



▲炊き出し訓練

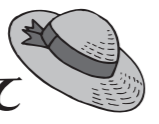


▲昨年は地元中学生も活躍しました

訓練参加機関

彦根市消防団、近隣各自治会、近隣各自主防災組織、彦根市地域婦人団体連絡協議会、彦根市赤十字奉仕団、ひこね災害ボランティアネットワーク、各ライフライン関係機関、各防災関係機関、EFエムひこねコミュニティ放送機 ほか  
問い合わせ先 〔総務課〕 ☎30-6100番、FAX22-1300番

夏だ、海だ、山だでも熱中症には気をつけて



死にいたることもある熱中症

熱中症とは、高温の環境下で、体温の調節機能が破たんするなどの理由で、体内の水分や塩分(ナトリウムなど)のバランスが崩れ、発症する障害の総称です。

油断すると、死にいたることもあります。予防方法を知っていれば防ぐことができます。

熱中症は予防が大切

熱中症は予防が効果的です。「外出時には帽子をかぶる」「水分をこまめにとる」「日陰を利用する」などの方法で予防してください。

また、たくさん汗をかいたら、スポーツドリンクなどで、塩分の補給を忘れないでください。

問い合わせ先 〔健康管理課〕 ☎24-0816、FAX24-5870

熱中症、こんな症状は要注意!

<p><b>重症度Ⅰ度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>めまい、たちくらみがある</li> <li>筋肉のこむら返りがある</li> <li>汗がふいてもふいても出る</li> </ul>	<p>水分・塩分を補給する</p>
<p><b>重症度Ⅱ度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>頭がががんとする(頭痛)</li> <li>吐き気がする・吐く</li> <li>からだがだるい</li> <li>判断力、集中力が低下する</li> </ul>	<p>足を高くして休む 水分・塩分を補給する (自分でとれなければすぐに病院へ)</p>
<p><b>重症度Ⅲ度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意識がない</li> <li>体がひきつける</li> <li>呼びかけに対し返事がおかしい</li> <li>真っすぐに歩けない・走れない</li> <li>体温が高い</li> </ul>	<p>水や氷で体を冷やして、救急車を呼ぶ</p>

わたしのまちの「美しいこね創造活動」体験記

地域のコミュニケーションを高めて やさしいまちをつくらう わかやぎ会

わかやぎ会は大敷ニュータウン第一部に住む40歳代から70歳代までの20人で作るグループです。地域内のコミュニケーション作りのきっかけの場を設けるために、平成14年から活動を始めました。月1回サロンを開催し、散歩やおしゃべりのほか、メンバーの特技を生かして、料理教室や、折り紙教室、お茶会を開催するなど、それぞれが協力しながら進めています。



▲児童の登校を見守るわかやぎ会の皆さん

また、市内各地で取り組んでいる、子どもたちの登下校の見守り活動にも参加しています。美しいこねをつくる活動として、各会員が、毎日、交通量の多い道路や、自宅の近くなどで、子どもの見送りや出迎えをしています。最近では、「お互いに顔も覚えて、「おはよう」と声をかけると、「おはようございます」と元気な声が返ってきます。見守り活動は、地域に貢献できるだけでなく、地域の子ともたちと知り合えたり、あいさつを通じて子どもたちから元気をもらうこともできたりするなど、2重・3重の喜びがあります。また、美しい行為を通じて受け取った「彦」は、会の運営に役立っています。

問い合わせ先 〔まちづくり推進室〕 ☎30-6117、FAX22-1398  
Eメール: machizukuri@ma.city.hikone.shiga.jp

※このコーナーに登場する団体・グループを募集しています。詳しくは、まちづくり推進室までお問い合わせください。